

# 令和元年度学校関係者評価

中央調理製菓専門学校静岡校 上級調理経営学科・調理師科

## 令和元年度学校関係者評価委員

### ■保護者

工藤 織佳 様 : 上級調理経営学科2年生 工藤改君の保護者

### ■企業関係者

野尻 陽子 様 : 株式会社 中島屋ホテルズ 経営企画室キャプテン

### ■他校関係者

高橋 渉 様 : 中央歯科衛生士調理製菓専門学校 高度調理経営学科 学科長

## 1. 教育理念・目標

【自己評価結果】		平均
1	教育理念並びに教育目標が明確に示されているか。	A
2	教育目標は卒業時の到達が読み取れるものになっているか。	A
3	教育理念並びに教育目標が教職員・学生に浸透しているか。	B
4	組織での目標設定が適切にされ、実行できたか。	B
5	鈴木学園クレドは教職員に浸透し、実践されているか。	A
【現状の問題点】		
徐々に理念や教育目標の重要性が理解されてきている。全体が同じベクトルで教育する姿勢ができつつある。		
【改善のための方策】		
学生への理念、目標の伝え方が不足していると感じている職員がいる。どうすれば伝わるかを打ち出すことが必要。		
【関係者評価】		
(企業様) 理念や目標の伝え方として、ワークショップを行い皆で意見を出し合い共有する研修を年に数回実施しています。本校ではBSCを活用し 次年度の方向性を決定して計画に落とし込んでいる。		

## 2. 学校運営

【自己評価結果】		平均
5	目標を達成するための事業計画が策定されているか	A
6	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。	B
7	情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	B
8	就業規則などの諸規定は適切に整備されているか。	B
9	組織内の連携は適切に図られているか。	B
10	上司の指示は適切にされているか	B
11	上司は提案を受け入れてくれているか	B
12	職場内での教職員教育・指導は十分なされているか。	B
13	BSCは適切に活用されているか。	B

<b>【現状の問題点】</b>
自由で建設的な意見交換ができる組織づくりのためには、「自分の立場でしか見えない景色を意識して発言する」姿勢と「聞く姿勢」を持った上司の存在が欠かせない。
<b>【改善のための方策】</b>
職員によって温度差があり、意識、理解度に差がある。この差を埋めるための自信を持って業務を行えるシステムづくりが必要。
<b>【関係者評価】</b>
11と13の評価が低い事に対して具体的な理由を探り、改善をする。普段から意見提案が出せる体制づくりが必要。 (企業様) 月1回面談を行い、上司と部下がコミュニケーションを取りながら悩み等を聞いている。

<b>3. 教育活動</b>		
<b>【自己評価結果】</b>		平均
13	授業評価の実施・評価体制はあるか	B
14	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	A
15	資格試験の合格率は他校と比較して妥当か。	B
16	資格試験の不合格者の対策は適切に行われているか。	B
17	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	A
18	目標に到達しない学生には対し適切なフォローがなされているか。	A
19	職員の能力開発のために研修等を実施若しくは派遣しているか	A
20	シラバスは十分に検討し作成されていたか。	B
21	シラバスの内容見直しについて教員間で検討されていたか。	B
22	教務の問題について、組織内で適切に話し合われているか	A
23	十分に余裕を持って教育行事の準備が出来ているか。	A
24	学生による学校評価を反省し、事後の教務を改善しているか。	A
<b>【現状の問題点】</b>		
自己の教育姿勢や役割についての自覚が高い。さらに工夫を重ねようという意欲も見られる評価になっている。		
<b>【改善のための方策】</b>		
授業評価体制の項目が低い評価の為、実施方法の改善が必要。授業と行事が関わることでの効果を考えて計画を立てる。		
<b>【関係者評価】</b>		
15の項目について 他校のデータがわからないため点数を低く評価した(職員より) 資格取得は調理師免許以外にサービス検定や製菓衛生師免許が選択制ではありますが取得が出来ます。		

<b>4. 学修成果</b>		
<b>【自己評価結果】</b>		平均
25	就職率の向上が図られているか	A
26	退学率の低減が図られているか	B

<b>【現状の問題点】</b>	
退学について更に検討を重ねているが、成果が表れていないのが残念	
<b>【改善のための方策】</b>	
退学に対しての取り組みの効果がでない。学生と話をする時間が不足し、様子を把握する時期が遅れているように感じる。次年度は話をする時間と機会を増やして早い時期に学生の様子を把握する。	
<b>【関係者評価】</b>	
退学率が変わっていない（三島校も同様）退学の意思を固めてから伝えてくるので翻意を促すのは難しい。意思を固める前に様子を把握する必要がある。学生と接する時間を作る為、業務体制を改善します。	

## 5. 学生生活支援

<b>【自己評価結果】</b>		平均
27	学生相談、カウンセリングに関する体制が整備・機能しているか。	A
28	各学校行事について、適切な事後反省を行い次回に活かしているか。	A
29	防犯・防災訓練の実施・防災計画の作成等、不法侵入・災害に対する整備は万全か。	A
30	進路活動に関する支援が整備され、機能しているか。	A
31	中途退学の理由、実状を適切に把握し、教職員で共有しているか。	A
<b>【現状の問題点】</b>		
学生相談については必要に応じて少しでも心配な面が見られる学生に対して面接をすることが計画されているので期待している。		
<b>【改善のための方策】</b>		
防犯の強化が必要。私物管理意識をさらに高めるよう指導する。		
<b>【関係者評価】</b>		
（保護者） 入学時は盗難等があり心配した所もありましたが、それ以降は特に大きく目立った事もなく過ごすことができました。将来を見据え、自己管理能力を身につける取り組みを継続する。		

## 6. 教育環境

<b>【自己評価結果】</b>		平均
32	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	A
<b>【現状の問題点】</b>		
施設の維持、更新が図られている		
<b>【改善のための方策】</b>		
破損、汚損防止の説明が必要と考える。		
<b>【関係者評価】</b>		
使用方法を説明し、現状を長く維持できるよう心掛ける。		

7. 学生の受け入れ募集		
【自己評価結果】		平均
33	学生募集のための広報資料の表現・内容並びに広報活動の方法，時期は適切か。	A
34	入学案内（パンフレット）には志願者が必要とする情報が掲載されているか。	A
35	体験入学の時期、回数、内容は適切か。	A
36	入学者選抜の時期、方針、方法は適切か。	B
【現状の問題点】		
学生の受け入れに対して更に検討が必要		
【改善のための方策】		
調理師科入学生獲得の方策が必須である。社会人向けの体験入学、進路の開拓、卒業後の活躍が分かるシステムづくりを検討する。		
【関係者評価】		
<p>（企業様）少子化の中で募集する中で、どういう取り組みをしているか。体験入学やガイダンス、学生講話などで生徒にとってわかり易く説明を行う。</p> <p>（保護者）          今の子供は行動力に欠けているため、高校へ出向いて話すことは大事だと思います。また若い職員よりベテランの職員のお話のほうの説得力があるように思う。          また離職の原因が学校にあるとは思わない。（今の子供はガッツに欠けているので）</p>		
8. 財務		
【自己評価結果】		平均
37	・中長期的に所属学科の学費納入基盤は安定しているといえるか	B
38	・学科で策定した予算・収支計画・執行は有効かつ妥当なものになっているか	A
【現状の問題点】		
学生数の減少が厳しいが、一方で光熱水費の現象など努力の成果が見られる。		
【改善のための方策】		
月締め伝票のチェックと予算執行状況の定期的な確認が必要。		
【関係者評価】		
職員それぞれの立場での財務意識を持たせる。必要性をその都度検討し、場合によっては大きな変更も必要と考える。		

## 9. 法令等の遵守

【自己評価結果】		平均
39	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	A
40	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	A
41	個人情報保護法を遵守しているか。	A
42	各種ハラスメントに対する防止・対応策が整備されているか。	B

### 【現状の問題点】

ハラスメント委員会の活動が形骸化しないように成果を図りたい

### 【改善のための方策】

法令は職員研修などで定期的に勉強していくことで考えが統一できる。

### 【関係者評価】

ハラスメント、個人情報について  
(企業様)

ハラスメントの相談窓口を設けたり、個人情報や書類の管理は徹底しております。